

教科	保健体育	科目	保健	担当	
履修学年	2年	単位数	1	履修区分	普通科(必修)
教科書	現代高等保健体育(大修館)				
副教材等	現代高等保健体育ノート				

1 学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2 学習評価

評価の観点	当該科目の評価の観点の趣旨
a 関心・意欲・態度	健康に関する関心・意欲・態度を身につけているか。
b 知識・理解	健康に関する知識・理解があるか。
c 判断・行動	保健の授業を通して自ら考え、判断し健康に関する行動ができるか。

※定期考査については、上記b、cの観点について学習内容に応じて適切に配分しています。

3 全体計画

期	月	内容の まとめり	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元(教材)の評価規準	評価方法								
					a	b	c										
前 期	4	生涯を通じる健康	1.思春期と健康 2.性意識と性行動の選択 3.結婚生活と健康 4.妊娠・出産と健康 5.家族計画と人工妊娠中絶 6.加齢と健康		○	○	○	生涯を通じる健康に関する現状や課題を理解できるか 生涯を通じて健康について興味関心を持つことができるか 思春期、性行動、結婚、妊娠、出産家族計画等の健康問題が理解できるか 加齢に伴う健康問題が理解できるか	授業態度 ノート提出								
	授業観察																
	6									生涯を通じる健康	7.高齢者のための社会的とりくみ 8.保健制度と保健サービスの活用 9.医療制度と医療費 10.医療機関と医療サービスの活用		○	○	○	生涯を通じる健康に関する現状や課題を理解できるか 生涯を通じて健康について興味関心を持つことができるか 高齢者の健康問題が理解できるか 保健、医療に関する知識が理解できるか	授業態度 ノート提出 前期末考査
9	前期末考査																
後 期	9	現代社会と健康	1.大気汚染と健康 2.水質汚濁と健康 3.土壌汚染と健康 4.健康被害の防止と環境対策 5.環境衛生活動のしくみと働き		○	○	○	社会生活と健康に関する現状や課題を理解できるか 生涯を通じて健康について興味関心を持つことができるか 様々な環境問題が理解できるか	授業態度 ノート提出								
	11									授業観察							
	11	現代社会と健康	6.食品衛生活動のしくみと働き 7.食品の環境の保健と私たち 8.働くことと健康 9.労働災害・職業病と健康 10.健康的な職業生活		○	○	○	社会生活と健康に関する現状や課題を理解できるか 生涯を通じて健康について興味関心を持つことができるか 食品衛生等に関わる健康問題が理解できるか 働くことと健康についての問題について理解できるか	授業態度 ノート提出 前期末考査								
3	後期末考査																

4 評定の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a		20		20
b		60		60
c		20		20
計		100		100

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

- 健康に関する事は生涯を通じて興味関心を持たなければならないという意識を身につけさせる。
- 授業内容が理解しているかをチェックするため、定期的にノートを点検する。
- 定期考査は各期末のみで範囲は各中間期から期末にかけてとする。